

### 新春子ども書初め大会 気持ちを筆に込めて

1月5日、横田コミュニティセンターで横田公民館主催の新春子ども書初め大会が開催され、町内の小学生33人が参加しました。

町内で書道教室を開いている稲田一郎さんらを講師に迎え、書き方の指導を受けました。参加した子どもたちは真剣な表情で筆と和紙に向き合い、一筆一筆に気持ちを込めて書き上げていきました。

この日書いた作品は、冬休みの課題として学校に提出したほか、1月10日から月末まで横田コミュニティセンターの展示室で展示されています。子どもたちが新年の思いを筆に込めて書き上げた作品をご覧ください。



▲指導を受けながら取り組む様子

### なわづ 「難波津に咲くやこの花冬ごもり～」 新春恒例の腕比べ! 百人一首大会

百人一首の会「山里会」と横田公民館の共催による新春百人一首大会が、1月5日に横田コミュニティセンターで行われ、町内の百人一首クラブや児童クラブに通う小学生など約50人が参加しました。

開会式では、検定合格者の表彰式や代表児童による札の詠み上げがあり、会場から大きな拍手が送られました。

試合では、読み手が上の句を読み上げると、畳の上に並んだ札の中から読まれた札を探し、札を取り合いました。初めての参加者も山里会会員の指導を受けながら集中して札を探し、見つけると嬉しそうに取り合っていました。



▲素早く札を取り合う参加者

### 三井野原でスキー場開き ウィンタースポーツのシーズン到来

12月23日、三井野原スキー場のスキー場開きが、アシハラゲレンデ前で行なわれました。

三井野原観光協会の主催で行われ、多くの来賓や民宿経営者など40人が出席し、シーズン中の安全と盛況を祈願しました。またゲレンデには積雪が少なかったことから、雪ごいも併せて行われました。

三井野原観光協会の白川英夫会長は「近年は積雪不足により来場者が少なかったため、今年は雪に恵まれる良いシーズンとなってほしい」とあいさつされました。

神事の後は、地元女性らの協力により餅つきが行なわれ、出席者につきたてのお餅が振る舞われました。

スキー場は2月28日まで営業予定ですが、積雪状況によっては変更されます。



▲祈願祭の様子

滑走状況をチェックするには

三井野原スキー場

検索

<http://www.okuizumo.ne.jp/~miinohara/>

### 文部科学大臣表彰を受章 安部隆 前奥出雲町教育委員会教育長(横田)

文部科学省では、教育委員会の委員または教育長で地方教育行政において特に顕著な功績があった方を対象とした地方教育行政功労者表彰が行われています。

安部前教育長は、平成21年5月、奥出雲町教育委員会教育長に任命されて以来、8年にわたり、教育活動の充実にご尽力されました。

在任中には、たたら体験学習や吾妻山合同キャンプなどの「ふるさと学習の充実」を基軸に授業改善・学力向上に努められました。また、文化財施策として地域の宝を後世に残す取組で指揮を執り、たたら製鉄を背景とした美しい棚田景観が中国地方初の重要な文化的景観に選定されました。さらには出雲國たたら風土記として日本遺産認定も受けています。

今回それらの功績が認められ、受章の栄に浴されました。おめでとうございます。



▲受章された安部前教育長

### みんなで人権について考えよう 「人権標語・イラスト」優秀作品を表彰

人権意識の高揚と啓発を図るため、奥出雲町人権教育推進協議会では毎年、人権標語と人権イラストを募集しています。

平成29年は、標語に858点、イラスト11点の応募があり、12月9日、横田コミュニティセンターで表彰式が行われました。

各部門の最優秀作品は次のとおりです。

#### 【標語の部】

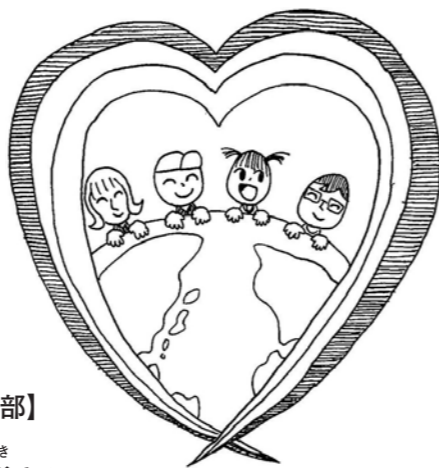
なかばやし すず  
中林 凜さん(三成小学校1年)

「いいところみつけの名人に  
わたしもみんなも なれるといいな」



#### 【イラストの部】

ふかいし なおき  
深石 直希さん  
(島根デザイン専門学校 研究科1年)



### ごうぎん島根文化振興財団から 図書カードが贈呈されました

公益財団法人ごうぎん島根文化振興財団では、県内の優れた文化芸術の創造・普及、教育活動の充実、スポーツの振興を支援することにより、地域社会をさらに発展させていくことを目的として、県内の市町村に助成を行っています。

教育助成は活発な活動を行っている市町村等に図書カードが贈呈されるもので、この度、奥出雲町(カルチャープラザ仁多図書室)の教育活動が評価され、平成29年度教育助成の対象に選ばれました。

12月15日、カルチャープラザ仁多図書室において贈呈式が行われ、山陰合同銀行三成支店の鈴木信吾支店長から立石典夫図書室長に図書カード10万円が手渡されました。立石室長は「早速、図書の設定を行い有効に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べられました。



▲贈呈式の様子

### 横田蔵市から 児童・生徒用図書が寄贈されました

協同組合横田ショッピングセンター(横田蔵市)では、地域に根差し、地域と共に歩む事業所をめざし、地域貢献活動を行っています。その一環として、10月1日から10月20日まで、100縁まつりレシート募金に取り組み、集まった募金の一部を児童・生徒用図書に換え、奥出雲町に寄贈いただきました。

12月11日、役場横田庁舎において贈呈式が行われ、安郷弘泰理事長から塔村教育長に目録が手渡されました。塔村教育長は「子どもたちの読書活動の充実に向けて有効に活用させていただきます」と謝辞を述べました。

寄贈された図書33冊は、横田コミュニティセンター及びカルチャープラザ仁多の図書室に設置しています。町内の児童・生徒をはじめ、広く町民の皆様が親しまれることを願います。



▲寄贈いただいた本